

01

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第1回地域夢・未来カフェ in 川西北

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため「第1回地域夢・未来カフェ in 川西北」が開催されました。

日時：2013年1月26日（土）13:30～15:30

場所：コミュニティプラザ

参加人数：市民 名+市WGメンバー 名

当日のスケジュール

- 13:30 開会、あいさつ（総合政策部長）
- 13:35 地域分権制度の全体概要について
- 13:50 フォーラム及びテーブルワークの概要について
- 14:10 イントロ（川西クイズ）
- 14:15 テーブルワーク①『地域の課題について』
- 14:45 テーブルワーク②『実現に向けた取組について』
- 15:30 閉会

あいさつ・地域分権制度の全体概要について

コミュニティの安田会長からのあいさつの後、総合政策部の本荘部長より地域分権制度の構築に向けての説明がありました。地域分権が推進される社会的背景や必要性、制度の概要とともに、今年度策定される第5次川西市総合計画における地域別構想の位置づけについても触れられました。

また、これから3回にわたり開催される地域夢・未来カフェの目的や昨年度実施された地域別懇談会との関係などについても説明がありました。



地域分権制度とは

市の持続的な発展を図っていくためには、行政の力だけでは限界があります。そこで、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らがその解決にあたるために、一定の権限や財源を地域へ移譲する制度です。

フォーラム及びテーブルワークの概要について

キックオフイベントとして9月15日に開催された「かわにし夢・未来フォーラム」の報告がありました。地縁型組織とNPOやボランティアなどのテーマ型組織の連携の必要性、面識社会の回復の重要性、市職員の果たすべき役割などについての意見交換が行われたとの説明がありました。

次に、カフェでのテーブルワークの方法についての説明がありました。まず、昨年度実施された懇談会の結果をふりかえり、「地域の課題」や「地域のありたい姿を実現するための取組」の内容を共有しました。その上で、2種類の色のシールを使って投票しながら、特に重要な課題や取組をみんなで議論し、検討していくという流れの説明がありました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、日本全体や川西市の状況についてのクイズが出題されました。



テーブルワーク

後半は、まず 3 つのグループに分かれてテーブルワークを行い、さまざまな意見を出した後に、全体で特に重要な課題と取組を投票しました。自治会や住民の交流に関しては、課題と取組両方で重要度が高くなっており、高齢者への支援については課題で、子育てについては取組でそれぞれ高くなっています。



◆地域の課題について（重要だと思う課題を 1 人 3 点選ぶ）

地域の課題	点数	地域の課題	点数
●自治会のあり方を見直す	15	●高齢者への支援	10
●環境保全	10	●地域の安全性の向上	10
●その他	7	●地域のコミュニケーションの向上	4
●空き家への対応	3		

●追加された主な意見

- ・川西市より低い加入率 ・自治会に入るメリットがない ・市役所職員でも自治会に入っていない ・役員が大変 ・子ども会から抜けると自治会から抜ける
- ・5%枠、明峰、桜が丘に子どもがいける ・孤独死が何件もあった ・昨年暮れに高齢者の徘徊が 4 件続いた ・地域密着は大事 ・独居高齢者の見守り
- ・家にこもらず、外に出られるような施設を ・道幅が狭い、スーパーの出入り、自転車のスピード、段差がある ・住宅内道路の車のスピード制限、遵守
- ・私道が多い ・松山浄水場跡地の活用 ・ボール遊びができない ・公園や公共の場でトイレ、授乳室などが少ない など

◆地域のありたい姿を実現するための取組について（重要だと思う取組を 1 人 5 点選ぶ） ※0 点の項目は削除

実現に向けた取組	点数	実現に向けた取組	点数
●住民の交流を活発にするために <36>			
隣近所の人が自治会加入を呼びかける	7	新規連絡の時など市から自治会加入を促す	11
マンションぐるみで自治会加入をすすめる(コミュニティからマンションのオーナーに申し入れ)			5
地域イベントの活用	10	子どもの下校時に見守りを行う	3
●子育てしやすい環境づくりのために <18>			
地域の施設整備の優先順位を決める	5	老人会活動や自治会活動のリーダー的指導を行政で進める	4
地域全体で子どもを育てる	9		
●高齢者や障がい者が暮らしやすい環境づくりのために <13>			
地域でサポートチームを創設する	4	高齢者それぞれの状況にあった参加を促進する	2
仲間づくりのコーディネートを自治会でを行う	3	空き家の把握	1
移動が困難な方にはタクシー代を補助し、イベントに参加してもらう(外出を促す)			3
●利便性を充実させるために <17>			
車優先の道路(整備)を見直す(切り下げを無くすなど)	5	中央北地区の開発に合わせた道路整備	10
市、県、国の垣根を外す(どこでもひとつの窓口が対応できるようにする)			2
●自然を大切にするために <3>			
守りたい地域の景観マップを作成する	1	老人会主催の花見、夏祭り、餅つきなどに公園を利用する	1
清掃活動	1		

●追加された主な意見

- ・文化会館の前が車イスも通れない程で歩道整備が必要(4) ・車のスピードを守ってもらう策の検討(1) ・自転車車が車道を走って危険
- ・小児科、産婦人科を増やしてほしい(2) ・お世話をする団体が横の連携を図る(2) ・コーディネーター(1) ・地域ボランティアを育成する
- ・自治会のメリットが見えにくい ・住民のニーズにあった取組 ・市とともに転居時に自治会加入を促す ・イベントでつながる街へ ・いつでも集える場
- ・自治会加入促進のため夏にバーベキューをしている ・魅力のあるイベント実施 ・盆踊りや子どもみこしで活性化 ・地域イベントの参加率が低い
- ・回覧は自治会しか回らない ・道路が車優先でバリアフリーではない ・地域に日用品や食品の店がほしい など